

## 和歌山愛奏で40年 上新電機のCM曲歌う平阪佳久さん

きらり感彩人

[関西タイムライン](#)

[フォローする](#)

2023年1月29日 2:00 [有料会員限定]

保存



上新電機のCMソングを歌うバンド「ウインズ平阪」のリーダー平阪さん

「ジョ、ジョ、ジョ、ジョ～シン」。 [上新電機](#)のCMソング「情熱をなくさないで」。歌うのは和歌山県に拠点を置くバンド「ウインズ平阪」のリーダー、平阪佳久さん（64）だ。発表は1992年に遡る。当時は関西エリアを中心に約140店舗だった同社は現在223店まで拡大し、曲の認知度は全国区だ。

2022年11月に旗艦店・日本橋店がリニューアルオープンした際には同店で記念ライブを開催。「上新さんと共に成長してきたといっても過言じゃない」。長年の活動を振り返る平阪さんは2月、バンドを卒業し活動に区切りをつける。

吉野家のCMソングなど、ほかにも数多くの企業タイアップ曲を手掛けてきた。国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」のテーマソングや和歌山県橋本市の市立中学校の校歌といった地元に関わる楽曲活動にも注力。22年に発売した最新アルバムのタイトルは「CM&テーマソング集」だ。



2023年の和歌山市はたちのつどいではミニライブを披露した

活動のモットーは「和歌山をイメージアップすること」。小学生の頃、大学受験を控えた姉が地元の大学に行かせたい親に反して京都の大学を受験した。理由は「（沢田研二さんがいた）ザ・タイガースが好きだから」。もう一人の姉も京都へ行った。

「地元を背負うスターがいないと、こうやって若者がいなくなっていくのか」。幼心に響いた。皆が憧れる「湘南」には加山雄三さんやサザンオールスターズがいる。

「誰かが和歌山のアイドルになり、盛り上げないといけない」。こうして高校時代、県内の同世代で結成したバンド「危機一髪」がいまの原点だ。

「高野口サンバ」「YAPPA紀州」……。和歌山を題材にした曲が多い。中でもデビューのきっかけとなったのは「キンキのおまけ」。「みかんの国、愛媛にゃちょい負ける」などと和歌山の魅力を自虐的に歌い上げた。ポップな内容が評判となった一方、曲を流した放送局には苦情もあったという。





走り続けて40年あまり。バンドに現役大学生・三戸浩輝さんをボーカルに迎え入れ、一線を退く。息子の靖啓さんら若い世代にバトンを託し、今後はサポート役として見守る。「ヒット曲はなかったが、夢はかなえるより追っかけるほうが楽しかった」。和歌山への愛は、これからも歌い継がれる。

(高橋直也)



保存



## 関連リンク

- [世界2連覇のダンスチーム育成 振付師・末沢紀子さん](#)
- [自分なりの「美」磨き発信 ミスコン代表の川村紗楽さん](#)
- [コロナ下で化粧品に参入 女性起業家大賞の平井翠さん](#)
- [ヒョウ柄で大阪から元気を 衣料品店長の高橋真由美さん](#)

## 関西タイムライン

フォローする

- [竹林の美、次世代へつなく 京都のNPOが保全・修繕奔走](#) (2:01)
- [武豊が2023年好発進 ディープインパクトの子で重賞V](#) (29日)